

販売士資格試験のための学習コンテンツの作成

0732141 古卿 慧依

指導教員：山崎 治 准教授

1.はじめに

販売士とは流通業界で唯一の公的資格として社会的に高い支持があり、近年では大学生の受験者が増加している。さらにこの先、流通業界に就職する人々からの高い需要が推測される。しかし、販売士の学習支援システムは作られていない。そこで、販売士資格の学習コンテンツとして e-Learning 教材開発し、販売士資格を取ろうと考えている人へのサービスの提供を研究の目的とした。本研究では販売士資格試験 3 級の試験科目の 5 教科のうち、平均点が低い 2 教科(小売業の類型、マーケティング)を実装している。e-Learning 教材の開発には CMS である Moodle 用いた。

2.コンセプト

コンテンツの目的として、販売士資格試験に向けた自習教材を提供することとした。あらかじめ参考書、問題集を一通り学習してから利用することを前提とし、コンテンツとしては小テストをメインカテゴリとして実装した。テスト機能を使い資格試験の予想問題など、実践的な知識を学習できるようにした。

3.対象ユーザ

河野(2008)によれば、1997 年の 272 人であった大学生の受験者数が 2007 年には 1956 人となっており大幅な増加傾向にあることが明らかとなっている。それには大学における資格・検定取得支援として、単位の認定や、授業カリキュラムの中に資格取得を直接の目的としている大学が存在していることが主な要因であると考えられている。そこで、対象ユーザをこの先、販売業の仕事に就きたいと考えている学生(主に大学生)に決定した。

4.実装

4.1 開発環境

- ・ OS:Windows Vista Home premium 64bit.
- ・ 開発環境:XAMPP lite 1.7.1
- ・ e-Learning CMS:Moodle 1.9.9+ for Windows
- ・ 推奨動作環境:Internet Explorer 8.0

4.2 実装結果

コンテンツの構成として、テスト機能をメインとした。さらに、試験日程などが閲覧できる「ニュースフォーラム」、学習者が管理者に質問ができる「質問受付」を用意した。その他に学習者同士のコミュニケーションの場として「チャット」、「掲示板」の機能を実装した。

図 1 に学習コンテンツの画面例として小テスト機能の画面を示す。

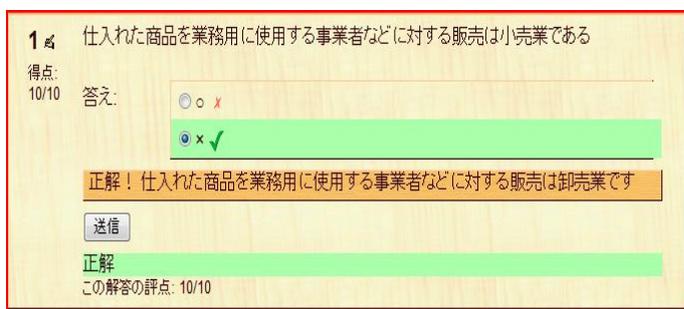


図 1 学習コンテンツの画面(実際の問題例)

テスト問題は教科ごとに分かれ、重要語句の確認を行う「基礎チェック問題」、正誤選択式の問題「予想問題 1」、関係語句選択式の「予想問題 2」から構成される。問題は平均 6 問をひとまとまりとしてセクションを構成した。基礎チェック問題は本教材を実施するために前提確認用の問題であり、セクションごとの合格点を定め、基準を満たさないと次に進めないようにした。予想問題 1 と予想問題 2 は、セクション間に依存関係を設けなかった。これは、試験直前のふりかえりやチェックなどにも利用することを想定したためである。

4.3.コンテンツの特徴

作成した学習コンテンツにおいて特に工夫した点を以下に示す。

(1)フィードバック機能の充実

フィードバックから得る達成感は学習にとって重要である。解答画面にフィードバック機能を実装し、誤答時に解説を表示する設定をした。

(2)実際の利用者からの意見を反映

コンテンツを利用した人からのフィードバックを送ることが出来る「意見箱」を実装した。

5.今後の展望

本コンテンツは、全 5 教科中の 2 教科のみを実装したが、残り 3 科目をすべて実装することが望ましい。さらに、今回は 3 級の試験科目の実装であったが、他の級のコンテンツを実装することでコンテンツの需要が高まると考えられる。そして実際に資格試験を受験した人からのフィードバックを得ることで課題や問題点が出てくることが考えられる。

6.参考文献

- 山口 正浩(2009). 3級販売士 最短合格問題集 かんき出版
- 河野 志穂(2008). ビジネス系検定における学生受験者の増加の背景——販売士を事例として—— 日本教育社会学会大会発表要旨集録(60),333-334